

平成25年度 施策評価調書

施策コード	2-8	所管部	防災環境部
評価責任者	職名	氏名	大野 紀夫
所管課	防災交通課		

1 施策

まちづくり方針	安全・安心で利便性の高いまちづくり
施策名	公共交通
基本方針	利便性の高い公共バスサービスの提供や鉄道の利用を促進することにより、交通弱者の移動手段の確保や、自家用車への依存度を低減し、温室効果ガスの排出量を抑制します。
主要施策	①市内バスの運行
関連個別計画	計画なし

2 評価・課題

評価	公共バスサービスの提供について、利用者数が年々増加していることから、通勤通学者・交通弱者の移動手段を確保しています。
課題	公共交通に対する市民ニーズを的確に把握する必要があり、ルート最適化を的確に図る必要があります。

3 今後の方向性

需要予想	増加	展開手法	拡張	行政コスト	増大
取組内容	路線やダイヤの見直しを含め、公共バスサービスの運行の最適化を図ることにより、利便性を一層高めるよう取り組みます。				

4 評価指標・実績

区分	指標の内容	目標年度	目標値	直近3年間の実績値（年度）			推移
				22	23	24	実績値：◆—◆—◆—◆ 属性：□→ 目標値：●
1	きたバス利用客数	29年度	170,000 人	154,096	161,233	163,639	
		属性	増加目標	進捗	上昇		
2	利用者一人当たりの費用	29年度	350 円	382	361	327	
		属性	減少目標	進捗	達成中		

5 行政コスト

（単位：千円）

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費 （うち一般財源）	58,867 (56,589)	58,275 (56,888)	53,640 (53,073)
人件費	4,786	5,026	4,954
合計	63,653	63,301	58,594

※事業費は決算額。人件費＝平均単価×人工。

6 施策を構成する事務事業

（単位：千円）

事務事業名	事業内容	平成24年度事業費
市内循環バス事業	路線バスの運行による交通機関の整備を行うことで、市民が利用しやすいバス運行の充実を図る。	53,640